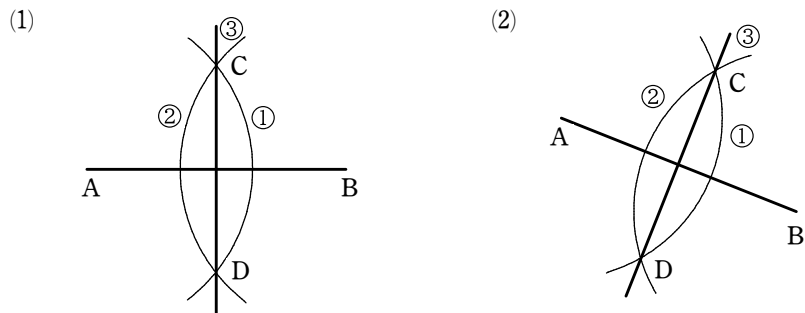


作図① 解答と解説

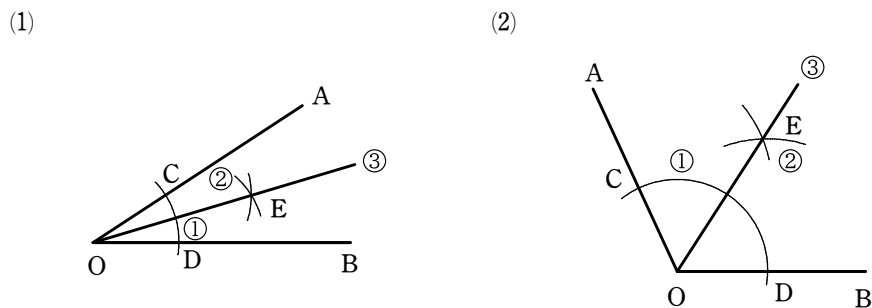
- 1 ① 点 A を中心とする適当な半径の円をかく。
 ② 点 B を中心として、①と同じ半径の円をかき、2つの円の交点を C, D とする。
 ③ 直線 CD をひく。

このとき、直線 CD は、線分 AB の垂直二等分線である。

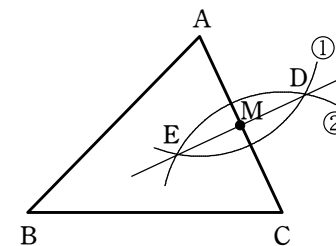


- 2 ① 点 O を中心とする適当な半径の円をかき、半直線 OA, OB との交点をそれぞれ C, D とする。
 ② 2点 C, D をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを E とする。
 ③ 半直線 OE をひく。

このとき、半直線 OE は、 $\angle AOB$ の二等分線である。



- 3 (1) ① 点 A を中心とする適当な半径の円をかく。
 ② 点 C を中心として、①と同じ半径の円をかき、2つの円の交点を D, E とする。
 このとき、辺 AC と直線 DE の交点が M である。



- (2) ① 点 A を中心とする適当な半径の円をかき、辺 AB, AC との交点をそれぞれ F, G とする。
 ② 2点 F, G をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2つの円の交点の1つを H とする。
 ③ 半直線 AH をひく。
 このとき、半直線 AH は、 $\angle A$ の二等分線である。

